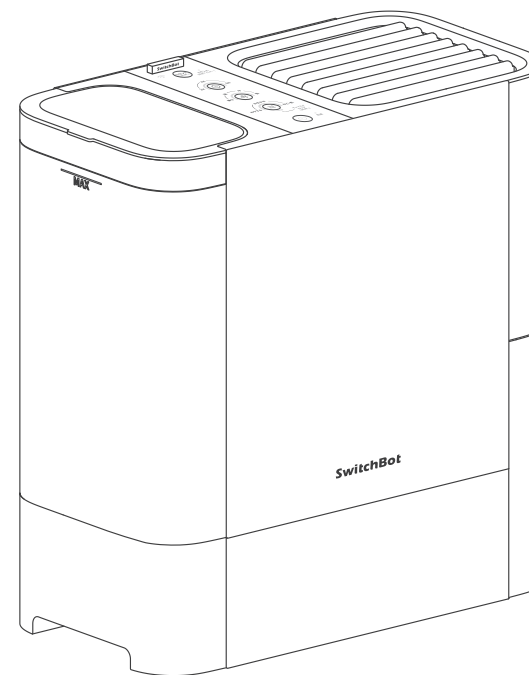


SwitchBot 気化式加湿器

取扱説明書







もくじ

安全上のご注意	01	クエン酸の使い方	13
・警告	01	・長期間使わないとき	13
・注意	02	初期化	13
・こんな場所には置かない	03	ファームウェアアップデート	14
各部のなまえ	04	製品仕様	14
準備する	05	アラート説明	15
使いかた	07	困ったときは	15
使用上のお願い	09	保証とアフターサービス	17
お手入れする	10		

安全上のご注意

お使いになる人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

	警告 「死亡や重傷*1を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷*2を負うことや、財産の損害*3が発生するおそれがある内容」です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です

*1重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど(体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど)・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。


*2軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3財産の損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。




警告

火災や感電などを防ぐために


異常時・故障時には、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

	(発煙・発火・感電の原因) ＜異常・故障例＞ ・水漏れする。 ・電源コードを動かすと、運転が止まる。	・運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。 ・本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする。 →すぐに運転を止め、コンセントから電源プラグを抜き、販売店へ点検を依頼してください。
--	---	---




本体は

	・幼児の手の届く範囲では使わない(感電・けがの原因) ・吸気口や吹出口、すき間に指や金属物などの異物を入れない(内部に触れると、感電やけがの原因)	・お子様や、身体・知覚・思考能力が著しく低下している方が単独で使うことは絶対にお止めください。ご使用の際には安全に使用できる環境下、かつ、製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用するようにしてください。
	・改造はしない、修理技術者以外の人は分解や修理をしない(火災・感電・けがの原因) 修理はお買いあげの販売店、またはサポートセンターにご相談ください。	
	・水につけたり、水をかけたりしない(ショートなどによる感電や火災の原因)	

設置・移動するときは


	持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない (コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因)
---	--

電源プラグやコードは


	・電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない(感電・ショート・発火の原因)	・電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない(ショートなどによる感電や火災の原因) *傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど。
	・電源プラグのホコリなどは、定期的に取り除く(ホコリが溜まると湿気などで絶縁不良となり、火災・感電の原因)	・お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く(感電・けがの原因) ・電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差し込む(感電・ショート・発煙・発火の原因)
	・ぬれた手で抜き差ししない(手に付いた水で感電の原因)	

注意



設置・移動するときは

	・不安定な場所に置かない(転倒すると、水がこぼれて感電や火災の原因) *転倒したときは、水をふき、十分に乾かしてから電源プラグを差し直してください。	・ふたや透明パネルを持って持ち運ばない(落下してけがの原因) *移動するときは運転を止め、タンクを抜いてトレーの水を捨てる(水がこぼれて家財などをぬらす原因)
---	---	--

設置・移動するときは

	プラグ部を持って抜く(コードが破損し、ショートなどによる感電や火災の原因)
---	---------------------------------------

本体は

	・長期間使用しないときは、タンク・トレーの水を捨てる(水を入れたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります)	・タンクの水や本体内部は、常に清潔にする *タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換えてください。 *本体内部は、定期的にお手入れしてください。(汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、まれに健康を害する原因) →体調に異常があったときは、医師にご相談ください。
	・穴があいたり、破損したタンクは使用しない(水がこぼれて家財などをぬらす原因)	

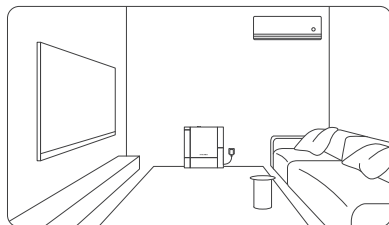
次のことをしない



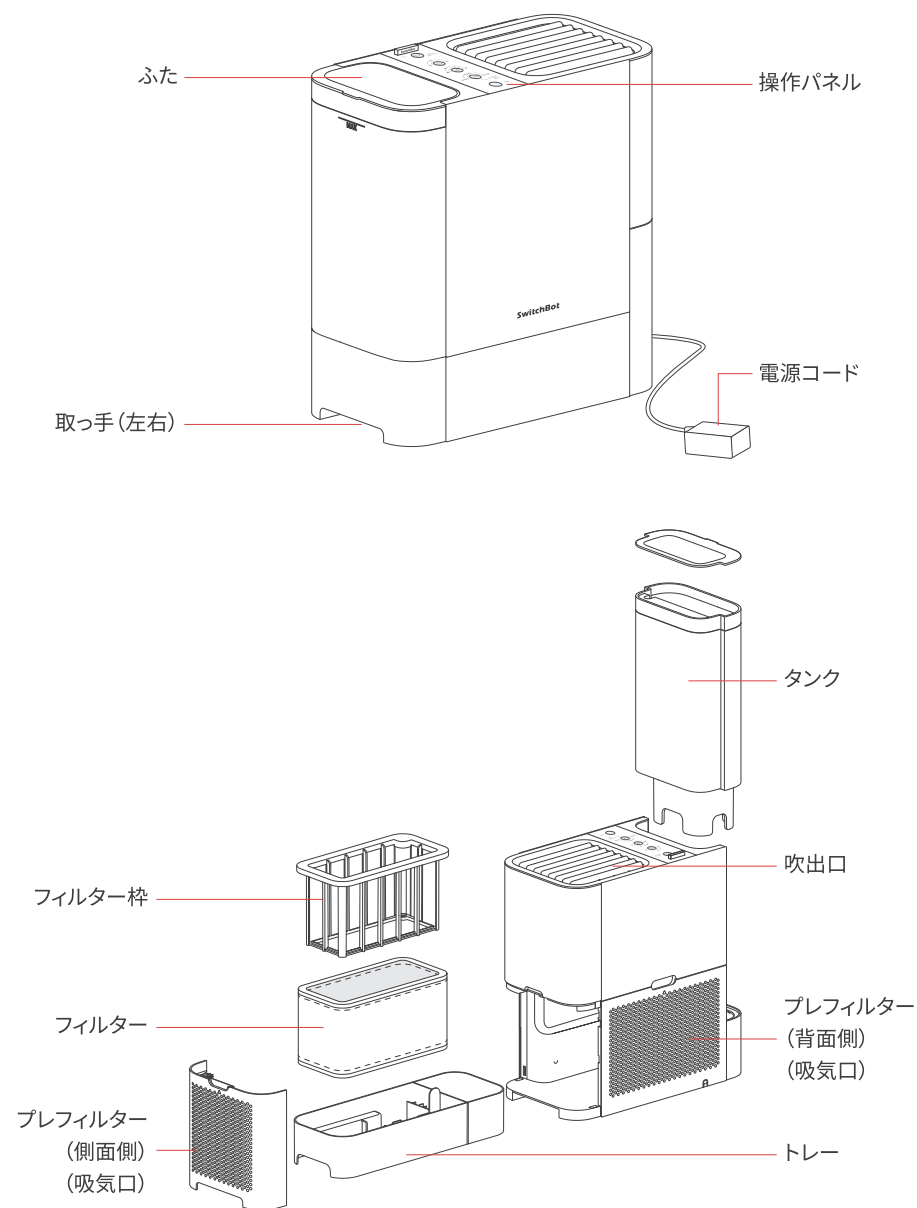
- ・化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどをタンクやトレーに入れない(タンク、トレーが破損して家財などをめらす原因)
- ・満水以上に水を入れない(水もれ・故障の原因)
- ・本体の上に乗る・寄りかかるなどしない(転倒によるけがや故障の原因)
- *とくに小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

こんな場所には置かない

- ・直射日光や暖房機の熱が当たる場所(変形や変質、変色の原因)
- ・カーテンなどで、吸気口や吹出口がふさがれる場所(誤動作や故障の原因)
- ・テレビやラジオの近く(映像の乱れや雑音の原因)
→1m以上離して置いてください。
- ・カーテンや壁・家具などから離す(シミ・変形の原因)
- ・加湿された風が家具、壁、カーテンなどに直接あたるところには置かない(しみが付いたり、変形するおそれがあります)
- ・暖房機など電化製品の上に置かない(転倒すると水がこぼれ、火災や感電の原因になります)
- ・湿度の高いところでは使用しない(故障の原因になります)



各部のなまえ

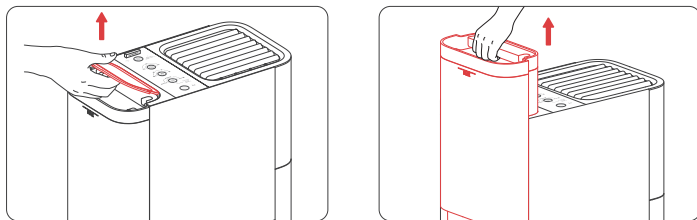


※イラストは説明イメージのため、実際とは多少異なる場合があります。また、製品及び取扱説明書は改良のため予告なく変更する場合があります。

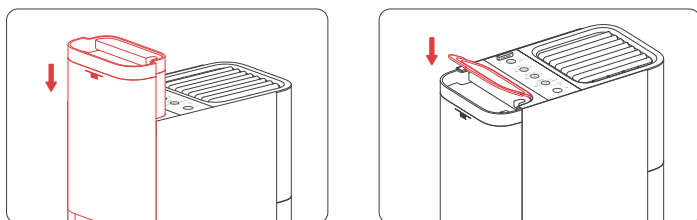
準備する

お使いになる前に

1.ふたを開け、タンクを取り出します。

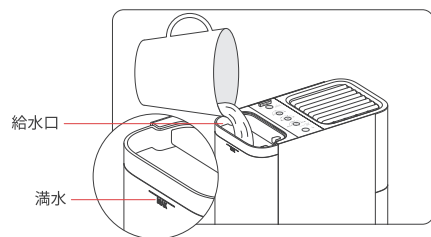


2.タンクに水を入れ、本体に戻しふたをします。



給水口から水道水を入れる

- 壁に当たるように注ぐと水の飛散が少なくなります。
- 本体に水がかかった場合はふいてください。



必ず、水道水(飲用)を使う!

(一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくい)

次のような水は、使わない。

- 40°C以上の温水や洗剤を入れた水(変形や故障の原因)
- 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水(破損して家財などをぬらす原因)
- 浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水(カビや雑菌が繁殖する原因)
(トレーは銀イオン除菌剤がありますので、効果的に殺菌し、細菌の繁殖を抑制できます)

※やむを得ず井戸水を使うときは、トレー、加湿フィルター、フィルター枠のお手入れ回数を増やしてください。

電源を入れる

電源コードを差し込む前に、電源プラグや手に付着した水をふく。

SwitchBotアプリに追加

アプリの機能をお使いいただくためには、本製品をインターネットに接続する必要があります。

本製品は電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

- スマホやタブレットのBluetoothバージョンが4.2以上であることを確認してください。
- 下記のQRコードをスキャンして、SwitchBotアプリをダウンロードしてください。
- SwitchBotのアカウントにログインもしくは作成してください。



iOS 14.0+



Android OS 5.0+

SwitchBotアプリを開き、ホーム画面の右上の「+」をタップし、気化式加湿器のアイコンを選択。指示に従ってデバイスを追加してください。

- SwitchBotアプリは定期的に更新されます。実際のガイドに従ってデバイスを追加してください。
- デバイスを正常に使用するため、アカウントの登録やデバイスの追加が必要です。ユーザー様の個人情報が漏洩することはありません。

SwitchBot温湿度計を登録

- 1.SwitchBotアプリを開き、SwitchBot温湿度計をアカウントに追加します。
- 2.加湿器にSwitchBot温湿度計を登録します。

Alexa音声コントロール

デバイスの追加完了後、アレクサによってデバイスの状態を確認、デバイスを操作できます。

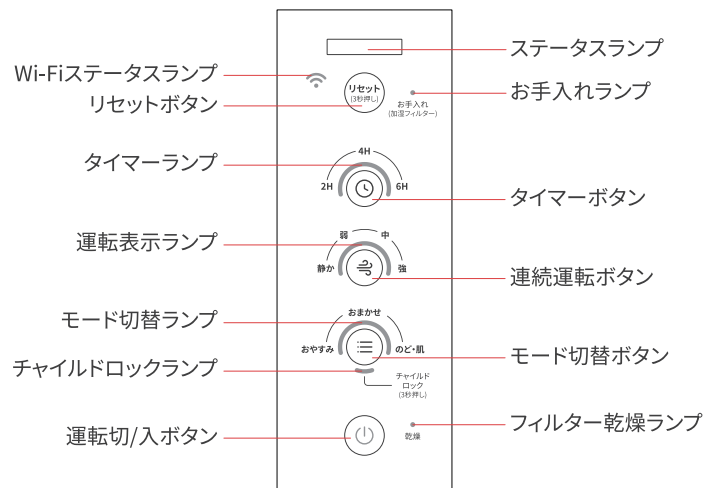
アレクサ、加湿器をつけて
アレクサ、加湿器をおまかせモードにして

下記のQRコードをスキャンして、音声コマンド例をご覧ください。



使いかた

操作パネル



運転のしかた

1. 運転切/入ボタン

運転切/入ボタンを押して、運転を始めます。

2. フィルター乾燥

運転停止後、自動でフィルターの乾燥(温風)を約70~90分間行ないます(フィルター乾燥ランプが点灯)。フィルター乾燥の運転を途中でやめたいときは、運転切/入ボタンを押してください。

3. モード切替ボタン/チャイルドロック

おやすみ、おまかせ、のど・肌の順で切り替わります。

おやすみ

- SwitchBot温湿度計(別売り)に未登録:「弱」で30分運転後、「静か」で自動運転します。すべてのランプが暗めに光ります。
- SwitchBot温湿度計(別売り)に登録済み:「弱」と「静か」で自動運転します。湿度が60%を超えると、加湿量200mL/hの「静か」で運転します。すべてのランプが暗めに光ります。

おまかせ

湿度約60%を目安に自動運転します。SwitchBotアプリから目標湿度を40%~70%に設定できます。

のど・肌

のどやお肌の乾燥が気になるとき、お部屋の湿度に応じて湿度約60~65%を目安に自動運転します。

- 室温18°C以下の場合、湿度は65%
- 室温18°C~24°Cの場合、湿度は60%
- 室温24°C以上の場合、湿度は55%

ご注意:「おまかせ、のど・肌」の運転には、SwitchBot温湿度計(別売り)へ登録する必要があります。登録していない場合は、利用できません。

チャイルドロック

3秒間押し、ランプが点灯し、お子さまのいたずら操作を防止します。再度3秒押し、ランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

ご注意:設定後は操作パネルのボタンがロックされ、操作を行えなくなります。SwitchBotアプリから操作できます。

4. 連続運転

静か/弱/中/強:お部屋の湿度に関係なく、それぞれの風量で連続運転します。過加湿保護機能:過加湿を防ぐため、湿度が70%を超えると、運転を停止します。アプリからのプッシュ通知でお知らせします。SwitchBot温湿度計(別売り)に登録する必要があります。SwitchBotアプリから過加湿を有効にする湿度を設定できます。

5. タイマー

設定した時間(2、4、6時間)に自動で運転が止まるようにします。

- 時間の経過とともにランプが切り換わり、残り時間の目安を表示します。
- 設定前に、タンク水量を確認してください。水量が少ないと、設定時間前に運転が停止することがあります。
- タンクが満水でも運転モード、室内の温度や湿度によっては設定時間前に水がなくなり、運転が停止することがあります。

※SwitchBotアプリから0~24時間のタイマーを設定できます。

6. お手入れ

稼働時間が約240時間を超えると、お手入れランプが常時点灯し、長時間お手入れが行なわれていないことをお知らせします。

- 以下の手順でお手入れをしてください。
 - コンセントから電源プラグを抜く。
 - タンク、プレフィルター(側面側)を外してから、トレーを取り出す。
 - プレフィルター、加湿フィルター、フィルター枠、トレーをお手入れして、本体に取り付ける。
 - 電源プラグを差し込み、「リセット」ボタンを約3秒押し、「お手入れ」ランプを消す。

ご注意:

お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、ニオイの原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。

7. リセットボタン

フィルターの稼働時間が約240時間を超えると、お手入れランプが常時点灯し、「リセット」ボタンを約3秒押し、「お手入れ」ランプを消します。

お手入れランプが点灯する前にお手入れをされた場合も、「リセット」ボタンを約3秒押ししてください。(お手入れランプの時間カウントがリセットされます)

ご注意:

フィルターをお手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、ニオイの原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。

8. Wi-Fi表示ランプ

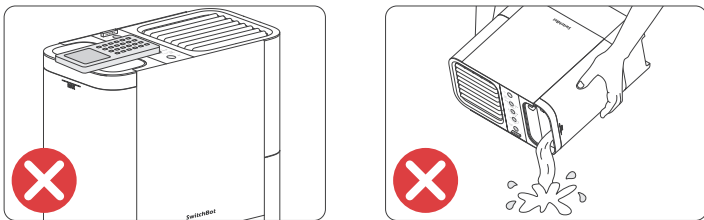
ゆっくり点滅:インターネット接続準備中

高速に点滅:インターネットに接続中

白く点灯:インターネットに接続済み

使用上のお願い

- ・凍結のおそれがあるときは、タンクとトレーの水を捨ててください。水が凍結した状態で運転すると、故障の原因になります。
- ・本体の上に、物を載せないでください。誤動作や故障の原因になります。
- ・排水は、トレーを取り出してから行い、本体から直接、排水しないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。



本体の持ち運びかた

取っ手を両手でしっかり持つ。

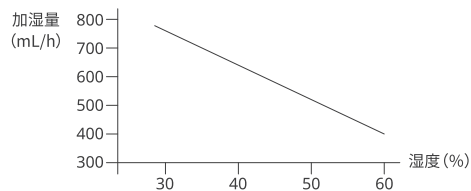


⚠️ ご注意

移動させるときは、必ず運転を停止し、タンクを抜いてトレーの水を捨て、本体底面の取っ手を両手でしっかり持ってください。

湿度や温度の条件によって加湿量が変わります。

- ・湿度が高いときや、室内の温度が低いときは水が気化しにくいので、加湿量が少なくなります（トレーの水の減りかたが少なくなります）。
- ・温湿度計の置く場所（エアコンや暖房器具の影響を受ける所、壁や窓際など）によって表示される湿度が市販の湿度計と一致しない場合があります。



お手入れする

「お手入れ」ランプが点灯したとき、または各部品の所定の期間ごとに行ってください。また、下記の場合は、「お手入れ」ランプが点灯する前や所定の期間前でも、お手入れしてください。

- ・ニオイがする。
 - ・水が減りにくい。
 - ・トレーの水が変色している。
- お手入れ時は、電源プラグを抜いてください。（不意に作動して、感電やけがの原因）

タンク(毎日)

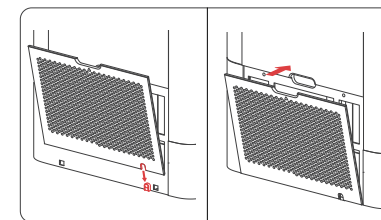
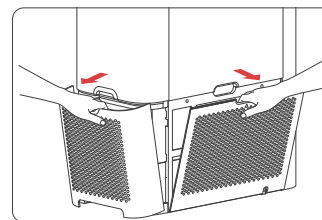
水洗いする。
しつこい汚れは下記の「クエン酸の使い方」を参照。



プレフィルタ(約1カ月に1回)

掃除機などで汚れを取る、または水洗いする。

取り外し方と取り付け方



- ①突起を本体の穴に差し込む。
 - ②「カチッ」と音がするまで押し込む。
- 側面側のプレフィルタも同様に取り付ける。

ご注意:

- ①プレフィルタを外したまま運転しないでください。吸ったホコリが本体内部に入り、故障する原因になります。
- ②破損した場合は、交換してください。

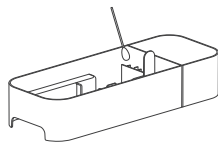
本体(約1カ月に1回)

よく絞った柔らかい布で拭く。

トレイ(約1カ月に1回)

水洗いする。

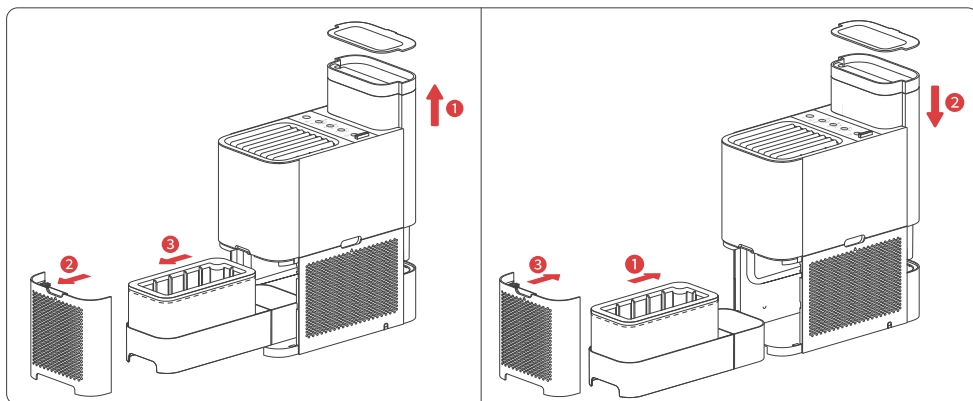
- ・細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。
- ・フロート(発泡スチロール)は、外さない。
- ・しつこい汚れは下記の「クエン酸の使い方」を参照。
- ・排水は、トレイを取り出してから行い、本体から直接排水しない。本体内部に水が入り、故障の原因になります。



トレイの外し方

1. タンクを抜く。
2. プレフィルター(側面側)を外す。
3. トレーを引き抜く。

片手で本体を固定し、トレイをゆっくり引き抜いてください。タンクを抜かないと、トレイは取り出せません。



加湿フィルター(約1カ月に1回)

水かぬるま湯で押し洗いする。

- ・ブラシなどでこすらない。
- ・乾燥機で乾かさない。(縮みの原因)
- ・お手入れ後、すぐに使う場合は、ぬれたままで構いません。
- ・しつこい汚れやニオイが気になるときは「クエン酸の使い方」参照。



※汚れの度合いは水質によって異なるため、こまめにお手入れしてください。稼働時間が約240時間を超えると、お手入れランプが常時点灯し、長時間お手入れが行なわれていないことをお知らせします。

加湿フィルター交換の目安

約10年に1回です。(1日8時間運転で定期的なお手入れをした場合)

交換後、SwitchBotアプリからフィルターの使用時間をリセットする必要があります。

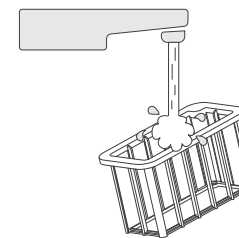
ただし、水質やご使用状況によっても寿命が変わるため、次の場合は交換してください。

- ・タンクの水が、減らない。
- ・変色(黒色・黄色)や汚れがひどい。
- ・傷みがひどい。
- ・縮みがひどい。

フィルター枠(約1カ月に1回)

水洗いする。

- ・しつこい汚れは「クエン酸の使い方」を参照。



お手入れに指定の洗剤以外は、使わないでください。

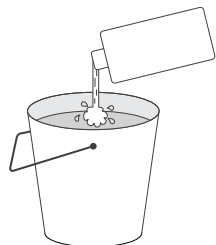
- ・台所用中性洗剤以外の洗剤は使わないでください。樹脂部品の変質・変色・破損の原因になります。
- ・加湿フィルターのみ、酸素系漂白剤をお使いになれます。
- ・化学ぞうきんは、その注意書きに従って使ってください。



クエン酸の使い方

クエン酸

ぬるま湯3L当たり2パック(約20g)のクエン酸、または大さじすりきり2杯。



洗い方

1.水か、ぬるま湯(約40°C以下)で、よく溶かす。

- 濃度が高いと、破損の原因になります。
- 台所用中性洗剤もお使いになれますが、ニオイや汚れが落ちにくいことがあります。

2.洗剤などを溶かしたぬるま湯に部品を入れて約30分放置する。

- 洗剤などを使ったときは新しい水で2~3回すすぎ洗いをします。クエン酸はすすぎが不十分だとニオイや故障の原因になります。

※加湿フィルターのみ、ニオイが気になるときは酸素系漂白剤でつけ置きしてください。
(使用量は漂白剤の説明書をご確認ください)

長期間使わないとき

- ①フィルターを乾燥させます。
- ②コンセントから電源プラグを抜きます。(停止時も電力を消費するため)
- ③タンクとトレイの水を捨て、すべてのお手入れをします。(上記のお手入れ方法を参照)
 - 内部をよく乾かす。(さびの発生による故障を防ぐ)
 - 加湿フィルターは、十分に陰干しして乾かす。(カビの発生を防ぐ)
- ④本体にポリ袋などをかぶせ、湿気の少ない所に立てて保管します。(寝かせたり、逆さにして保管すると、故障の原因になります)

初期化

運転切/入ボタンを15秒長押しして、表示ランプが点灯します。手を離して、表示ランプが消灯したら、デバイスは初期化されます。

ファームウェアアップデート

より快適にご利用いただくため、常にファームウェアを最新のバージョンにアップデートすることをおすすめします。アップデートが利用できるようになると、通知が届きます。ファームウェアのアップデートを行う際に、SwitchBot製品が電源に接続していることを確認して、スマホをSwitchBot製品に近づけて行ってください。

製品仕様

電源	AC100~240V、50/60Hz			
運転モード	強	中	弱	静か
消費電力	15W	8W	5W	4W
加湿量	700mL/h	500mL/h	350mL/h	200mL/h
連続運転時間	6h	9h	13h	22.5h
「静か」の運転音	18dB			
適用床面積	和室20m ² (12畳) 洋室32m ² (19畳)			
材料	ABS/ABS+PC			
色	ホワイト			
タンク容量	4.5L			
寸法	380×200×402.5mm			
重量	5.8kg			
コードの長さ	1.5m			
動作湿度	0~40°C			
相対動作湿度	1~100%			
通信方式	WiFi+Bluetooth Low Energy 4.2以上			
対応OS	iOS 14.0+、Android OS 5.0+、watchOS 4.0+			

※①運転が「切」のときの消費電力は、約0.8Wです。(電源プラグを差し込んでいる状態) フィルター乾燥運転のときの消費電力は約2Wです。

※②室内の温度や湿度によって、加湿量は変わります。

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる海外でのご使用はできません。また、アフターサービスもできません。

アラート説明

アラート	トリガー時期	お知らせ方式
タンクが持ち上げられた	タンクを持ち上げた時	アプリ通知+警告音
水量低下/満水	水位が低い/満水の時	アプリ通知
水量不足	水位が極めて低い、水量不足と感知された時	アプリ通知+ステータス表示ランプが赤く点灯
本体が傾く	運転中、デバイスの傾き角度が10°以上と感知された時	アプリ通知 (デバイスは運転停止)
フィルターの取付	フィルターを外した時	アプリ通知+警告音

困ったときは

こんなときは	ここを確かめてください
運転しない (トレイの水が減らない)	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。正しく接続してください。 給水トレイは本体に装着されていますか。給水トレイを本体に差し込んでください。 湿度が70%になると加湿を停止します。
通電中、運転しない	タンクの水量を確認してください。水量不足の際は、運転できません。
加湿中、湯気は出ない	水を含んだ加湿フィルターに、風を当てて湿気を出す「気化式」のため、湯気は出ません。
加湿量が少ない	プレフィルター(吸気口)が、ホコリで目詰まりしていませんか。加湿フィルターに、水あかやゴミが付いていませんか。
季節によっては加湿量が著しく少ない	梅雨時の湿度が高いときや寒い日に、洗濯物が乾きにくいと同じで、お部屋の温度や湿度によって、加湿量が変化します。暖かくて乾燥しているほうが加湿量は増えます。
加湿フィルターが変色する	水質などにより変色することがありますが、性能上の問題はありません。

こんなときは	ここを確かめてください
運転中、タンクの水が減らなくなってきた	プレフィルター(吸気口)が、ホコリで目詰まりしていませんか。 →目詰まりを取り除いてください。 トレイが汚れていたり、水が古くなったりしていませんか。 →トレイをお手入れして、汚れを落としてください。 目標湿度に達すると、加湿運転を停止しています。
風がつめたい	水を含んだ加湿フィルターから湿気が出る時、空気中の熱を奪うため、室温より低い温度の風が出ます。
運転を停止したあと吹出口より風が出る	運転停止後、自動でフィルターの乾燥(温風)を「静か」で行ないます。 •フィルターの乾燥を行なうことで、カビや雑菌の繁殖を防ぎます。 •本体内部の温度が上がらないようにします。
本体に温湿度計センサーがない	SwitchBot温湿度計は別売りです。温湿度センサーを本体に内蔵すると、運転時の熱や湿度の影響を受けたり、本体近くの湿度のみ感知され、部屋中の湿度と異なるため、SwitchBot温湿度計と併用する形を採用し、より正確な湿度に基づいた運転を実現しています。
ニオイがする	加湿フィルターをお手入れしてください。
吹出口の中に物が入ってしまった	運転を停止し、電源プラグを抜いてからタンク・トレイをはずして物を取り出してください。

詳しくは下記のQRコードをスキャンしてご確認ください。



保証とアフターサービス (よくお読みください)

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「困ったときは」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名

気化式加湿器

●故障の状況

できるだけ具体的に

保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

(ただし、プレフィルター、加湿フィルターは、消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

以下のいずれかに該当する場合は保証範囲外となります。予めご了承ください。

- 1.不適切な取り扱いや誤用・乱用等による故障や損傷
- 2.不適切な使用環境での使用や保管等による故障や損傷(例えば：水気のある環境下での使用や、デバイスを設置する際に落下させたことによる故障)
- 3.不当な修理や改造・分解及び異常電圧等に起因する故障や損傷
- 4.本製品仕様に適合しないサードパーティのコンポーネントまたは製品との併用に起因する故障や損傷
- 5.弊社が発行するガイドラインの範囲を超えた製品の操作に起因する故障や損傷
- 6.火災・地震・水害及び盗難等の災害による故障や損傷
- 7.電池などの消耗部品または経時的に劣化が当然予測される部品
- 8.公式サイトや正規取扱店舗以外のルートでご購入の場合(例えば：中古屋での購入など)
- 9.その他弊社の責任とみなされない故障や損傷

保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間

当社は、この気化式加湿器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

フィルターなどの消耗品(別売品)とは異なります。

アフターサービス

製品についてのご意見とご不明な点等がございましたら、下記の方法でお気軽にお問い合わせください。

①SwitchBotアプリのプロフィールの「ヘルプとフィードバック」

フィードバックにはスマホスクリーンの録画機能があります。ご利用中に動作不良等の問題がございましたら、迅速に問題を判明させて頂くため、是非ご利用ください。

②サポートメールアドレス：support@switchbot.jp

③サポートウェブサイト：support.switch-bot.com/hc/ja

※お客様の個人情報のお取り扱いについて

弊社はお客様の個人情報を、弊社製品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。ご提供いただいた個人情報は適切に管理し、お客様の個人情報の保護に万全を尽くしてまいります。